

【導入事例】「屋外型メトスプライベートサウナ」を

雲仙九州ホテル「雲仙邸 離れ」に先行導入

白濁の名湯と最新型屋外サウナで、客室で完結する
完全プライベートな上質などとのい体験を提供

2026年5月12日

株式会社メトス

「人の心と体をあたためる」をモットーに温浴・サウナ、暖炉・薪ストーブ、福祉事業を展開する株式会社メトス（本社：東京都中央区、代表取締役：吉永 昌一郎、以下「メトス」）は、2026年4月25日にリニューアルした雲仙九州ホテル（長崎県雲仙市）の最上級客室「雲仙邸 離れ」において、新たに開発した「屋外型メトスプライベートサウナ」を導入いたしました。

「雲仙九州ホテル」は、PROSPER 日本企業成長支援ファンド第一号投資事業有限責任組合が保有・経営するリゾートホテルです。



「屋外型メトスプライベートサウナ」の取り扱い開始

屋内設置の「メトスプライベートサウナ」において、テラスなど屋外への設置のご要望を多数いただき、この度「屋外型」を新たに開発いたしました。2026年度から取り扱いを開始するこの最新型サウナを、湯けむり立ちのぼる雲仙地獄に最も近い最上級客室「雲仙邸 離れ」（全4室）のプライベートテラスに導入いたしました。

屋外型ならではの魅力として、サウナ室を出た瞬間に広がる自然の外気が温冷交代浴の質を一段と高めます。特に雲仙の澄んだ空気と豊かな緑に囲まれた環境は、火照った身体を優しく冷ましながらか、深い解放感と高いリフレッシュ効果をもたらします。自然と一体化するような感覚の中で、都市型サウナでは味わえない、雲仙ならではの特別なとの体験をご堪能いただけます。



本格フィンランド式サウナとセルフロウリュ

「雲仙邸 離れ」ではセルフロウリュが可能、ロウリュ用のアロマオイル（rento）もご用意しています。心地よい蒸気と香りが全身を包み込み、誰にも気兼ねすることなくご自身のペースで贅沢なサウナ体験をご堪能いただけます。

メトスは、1964年開催の東京オリンピックの選手村にサウナが作られたことをきっかけに、海外のパートナー企業と連携しながらいち早くサウナの施工・販売を開始しました。施設/商業用のパブリックサウナの体感、魅力をそのままコンパクトに凝縮したのがメトスプライベートサウナです。内装、ヒーターすべてがメイドインジャパンのユニットです。

この屋外型メトスプライベートサウナは一般家庭用にも順次導入を開始いたします。



客室で完結するととのいのウェルネス空間

テラスにはサウナに加え、専用の水風呂と外気浴ソファを設置いたしました。既存の白濁した天然温泉（内風呂・露天風呂）はそのままに、客室内で温泉・サウナ・水風呂・外気浴までを完結できる、完全プライベートの癒やし空間を実現しています。雲仙の豊かな自然を間近に感じながら、テラスでは至福の外気浴空間をお楽しみいただけます。



施設概要

<施設概要>

施設名称： 雲仙九州ホテル

所在地： 〒854-0697 長崎県雲仙市小浜町雲仙 320

客室名称： 雲仙邸 -離れ

客室数： 4室

定員： 4名

ホームページ： <https://kyushuhtl.co.jp>

メトスの温浴・サウナ事業について

1964年に開催された東京オリンピックの選手村にサウナが作られたことをきっかけに、海外のパートナー企業と連携しながらいち早くサウナの施工・販売を開始しました。設備診断、設備設計、施工からメンテナンスまで一貫したサービスを提供しています。早い段階からSDGsや環境に配慮した事業展開にも着目し「衣・食・住」の中の「住」に関わるプロとして、人々の持続可能な未来の実現に寄与できるような温浴事業全般の提案も行っております。

また、メトスは温浴・サウナ事業のほかに、薪ストーブやガスオブジェ、特注暖炉などを取り扱う暖炉・薪ストーブ事業と、ユニバーサルデザインの介護浴槽などを取り扱う福祉事業の3事業を展開しております。

メトスはこれからも、高品質な設備を通じて、心と体の健康に寄与するサウナ文化を広めてまいります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

[会社名] 株式会社メトス

[主な事業] 温浴・サウナ事業、暖炉・薪ストーブ事業、福祉事業

[TEL] 03-3542-0332

[Email] shinki@metos.co.jp

[直営店] <https://metos.co.jp/pages/saunasoppi>

[ECサイト] <https://saunasoppi.shop/>

